

事務事業名		明石緑が丘公園管理事業		所属部	産業振興部	所属課	産業施設課
総合計画体系	政策名	〈V〉挑戦し活力を産みだすまち〈産業〉		所属G	産業施設グループ	課長名	安部 哲男
	施策名	〈38〉観光の振興		担当者名	宮川 勝	電話番号	0854-40-1093
	目的:対象	市外の人・市民	意図	市内観光地を訪れ、市内で消費してもらう。		(内線)	2421
	基本事業名	〈117〉受け入れ施設の充実		予算科目	会計 款 大事業 大事業名	農業施設管理事業	
目的:対象	観光客	意図	受け入れ施設を整える。		項 目 中事業 中事業名	明石緑が丘公園管理事業	

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16年度～)
② 事業内容	(期間限定複数年度事業は全体像を記述) 地域住民を主体とした、スポーツ・レクリエーション・芸能や趣味活動・農林業体験実習により農業に対する理解を深めると共に、地域内外の交流促進を図ることを目的とし設置した施設である。 明石ふれあい館、コテージ、ログハウス、レクリエーション広場、伝習館、ゲートボール場等の施設管理運営

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	27年度実績(27年度に行った主な活動)	28年度計画(28年度に計画する主な活動)				
	② 活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)	
	ア	契約件数	件	4	2	16	5
	イ	支払件数	件	15	11	19	8
	ウ						
	エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)	
	①市民 ②市外からの入込客	ア	人口【国勢調査(推計)】	人	40,055	39,472	38,990	38,968
		イ	観光入込客数	万人	143.8	137.7	148.3	148.0
		ウ						
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)	
	①②利用できる。	ア	利用者数	人	42,502	43,182	43,338	43,000
イ		内スポーツ施設利用者数	人	18,370	18,994	18,920	18,000	
ウ		総体的な売上	千円	34,182	34,773	34,562	34,000	

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (27年度決算)	② コストの推移	単位	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(計画)	
【指定管理料】22,874千円、 【修繕費】4,752千円、【食糧費】1千円、 【役務費】116千円、【備品購入費】708千円	財源内訳	国庫支出金	千円				
		県支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円	29,150	27,403	28,451	23,257
		事業費計(A)	千円	29,150	27,403	28,451	23,257
	人件費	正規職員従事人数	人	3	3	3	
		延べ業務時間	時間	150	120	120	
		人件費計(B)	千円	584	467	470	
		トータルコスト(A)+(B)	千円	29,734	27,870	28,921	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
景気の低迷とともにゴルフ人口が減少する中で、ケイマンゴルフ場利用者も減少し、第3セクターの会社経営も困難をきたした。その中で、指定管理により委託し、常連客も増え経営も安定してきた。しかし、施設の修繕も必要な時期となっている。	平成18年度から指定管理施設とし、ケイマンゴルフ場からパークゴルフ場へ整備することにより利用客の回復を図ってきた。平成22年度にパークゴルフ場の増設、グランドゴルフ場の新設を行い新たな観光面を含めた交流拠点を目指した。	利用者及び指定管理者から施設の老朽化による施設改修の要望があり、緊急性の高い箇所から修繕を実施している。

事務事業名	明石緑が丘公園管理事業	所属部	産業振興部	所属課	産業施設課
-------	-------------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？		
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒	
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	大人から子供まで楽しめるパークゴルフの人気を高め、市内外に広くPRするよう手段の検討余地はある。
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない		
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有		
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	スポーツ・レクリエーション・宿泊施設等の複合施設であり、他に類似施設がないため統廃合はできない。	
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	最低限で指定管理しているため、これ以上の削減余地はない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
B 有効性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	最低限で指定管理しているため、これ以上の削減余地はない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
C 効率性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	幅広い年代で楽しめる施設であり、市民、市外の方も多く利用している。安価でスポーツ等が楽しめる施設であり、公正であるといえる。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	
C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
平成18年度から指定管理となり、施設の利用者も増加傾向にある。施設は指定管理者が適正に管理している。			

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																						
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 目的再設定	<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携																					
<input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善)	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善)	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)																					
市民や市外へ積極的なPR活動を指定管理者と市の協働で行い、利用者数を増やすための取り組みが必要である。																								
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		●																					
	維持			×																				
	低下		×	×																				
<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																								